

【NEWS RELEASE】

2023年4月11日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社日本総合研究所
日本電気株式会社SMBCグループの専用環境における
AI アシスタントツール「SMBC-GPT」の実証実験の開始について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ(執行役社長グループ CEO: 太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」)、株式会社日本総合研究所(代表取締役社長: 谷崎 勝教、以下、「日本総研」)、日本電気株式会社(代表取締役 執行役員社長 兼 CEO: 森田 隆之、以下、「NEC」)は、日本マイクロソフト株式会社のクラウドサービスである Microsoft Azure の SMBC グループ専用環境上で構築する AI アシスタントツール「SMBC-GPT (※1)」の本格的な導入に向けた実証実験を開始いたします。

(※1) GPT とは Generative Pre-trained Transformer の略。文章の意図を解釈し自然な言葉の文章を生成する技術です。大量の文章データを学習して、高度な文章処理を行うことができます。

「SMBC-GPT」は、Azure OpenAI Service (※2) を活用した AI アシスタントツールです。SMBC グループ専用環境上で動作するチャットツールとして、情報が社外に流出しないプロトタイプを構築し、社内従業員のみ利用可能とします。先進的な技術である大規模言語モデルを活用することにより、従来のチャットボットと比べ、より高度かつ自然な文章を生成することが可能になります。従業員が「SMBC-GPT」に質問をすることで、文章の作成、要約、翻訳、ソースコードの生成などをチャット形式で手軽に行うことが可能で、情報収集などにかかる時間が減り、生産性の向上が期待できます。

(※2) Azure OpenAI Service とは企業に求められるセキュリティやデータ保護を備えながら、OpenAI と同じ大規模言語モデルの利用が可能なサービス。公平性、信頼性と安全性、プライバシーとセキュリティ、包括性、透明性、説明責任というマイクロソフトの“責任ある AI” 原則に基づいてお客さまへ提供されます。

日本総研、NEC は、日本マイクロソフト株式会社と共に、SMBC グループの独自情報について回答を可能とすることに加え、更なる回答精度の向上に向け、AI モデルの調整・最適化を行います。また、従業員の幅広いニーズに対応した汎用的な AI 学習を実現するためのシステムインフラを整備し、自然言語処理だけではなく、画像認識、音声認識、開発高度化などの分野でも幅広く活用

していけるよう様々な機能レベルアップを進め、「SMBC-GPT」を多様な分野に活用できる金融 AI へと押し進めてまいります。

具体的には、お客さまが希望される手続に対し、従業員が「SMBC-GPT」を活用し、お客さまへの迅速なご案内が可能となるツール等の開発を進めてまいります。また、AI が収集・分析した市場動向や外部環境などの情報を活用し、各種企画資料やお客さまへの情報提供資料の作成をサポートします。

なお、AI の回答内容の正確性は従業員が判断することを徹底するとともに、外部 AI の利用を禁止していることを改めて社内研修等にて周知する一方、AI に関する規制等の最新動向を踏まえ、社内の規程・ガイドラインを順次見直ししていきます。

SMBC グループは、AI のリスクに対する取り組みと同時に、先進的な技術の活用にも積極的に取り組んでいます。技術の進歩を追いかけるだけでなく、新しい技術を取り入れることで、お客さまにより良いサービスを提供することを目指します。

NEC は、AI をはじめとする先進技術や情報を安全に活用し、SMBC グループの DX の実現をサポートします。並びに、今回の実証実験で得られる知見を活かしながら、今後もお客さまの DX 実現を推進いたします。

(参考) マイクロソフトコーポレーションと三井住友フィナンシャルグループは 2022 年 1 月に戦略的パートナーシップ契約を締結しております。両社は、SMBC グループの DX を加速するとともに、日本および世界における業界の変革を推進するために、様々な革新的ソリューションの提供を共同で行うこととしております。

以 上